

# 山陰沖にサンマの漁場？

## 竹島近海で水揚げ

### 島根丸の試験で分る

日本海のサンマの生態は水産学界の研究課題となっているが、県水産試験船島根丸が二十九日、竹島南方二十浬で漁労試験をしたところ産卵中のサンマ百余匹を水揚げした。太平洋岸で盛んに漁獲されるサンマは、毎年秋から冬にかけて北海道、東北地方の沖合で産卵し、次第に南下するが、日本海のサンマは五、六月ごろ山陰、北陸地方の沖合で産卵し、次第に北上するのではないかと学界で考えられていたのが、今度の漁労試験で、その学説が正しいものである

ことが立証された。今度とれたサンマは体長三十浬もあり、十月ごろから北海道、東北地方の沖合でとれるものと同程度に成育しており、しかも

全部産卵直前の成熟した卵を持つていた。だがセキスイ菅数は平均六四・六で太平洋の六七より少なく、種類が異なるものとみられている。

神藤県水試場長談 竹島、隠岐島周辺は有望なサンマの漁場と思われ、本県沖のサンマ漁が企業的に成立つかどうか、さらに究明してゆきたい。